

みこしに熱狂、秋の味覚に舌鼓



恒例の200斤焼きマツタケ。ことしも多くの人でにぎわいました



みこしの競演で最優秀賞に輝いた御所の前組のみこし



市内各店舗のハヤシの恵ちゃんの食べ比べも好評



明智会場で行なわれた各地の太鼓の競演



祭を盛り上げるENAレンジャー参上



マツタケの販売を待ちわびるお客さん



さまざまな団体がパフォーマンスを披露



×クイズで盛り上がる明智会場

9月26日と27日、ENAみのじのみのり祭が開催され、約11万人の来場者でにぎわいました。

26日は、昨年引き続き明智町にも会場を設け、秋の味覚を炭火で味わうマツタケ焼きや、市内各地の太鼓の競演などが行われました。

同日夜の恵那会場では、みこしの競演があり、企業・サークルなど13団体が参加。迫力と個性あふれるみこしに、観客も大いに盛り上がりました。競演は、御所の前組の「三世交代流」が最優秀賞に輝きました。

みこし競演入賞団体は次のとおりです。優秀賞「恵那やろまい会、敢闘賞」永田みこし会、創作力賞「恵那ショッピングプラザパロー、団結力賞」大井しぶろく会、パフォーマンス賞「恵那市職員互助会。

2日目の27日は、恵那会場の恵那駅前などでマツタケ焼きが行われ、パロー駐車場では市内13地域の味覚や特産品を集めた「ふるさとまぢまん」が開催されました。来場者は存分に秋の味覚を楽しみました。